

徳川美術館 土曜 子ども 教室



平成31年度



ひな お雛さまの いろいろ

節供というと、3月3日の「桃の節供」、5月5日の「端午の節供」、7月7日の「七夕」、9月9日の「重陽の節供」などがあります。昔の人は、季節のかわり目に、病気にならず、健康に過ごせるようにと、さまざまな行事を行いました。

3月3日の雛まつりである「桃の節供」では、お内裏さまとお雛さま、その他さまざまな人形や道具を飾って、女の子の成長と幸せを祈ります。

1 雛の歴史

雛まつりとは、大昔の中国で、3月の上旬に水辺に出て、自分の身に降りかかる災いやけがれを流し去る行事がもとと考えられています。この行事は、今から1300年以上も昔に、日本に伝えられました。

また日本には、自分に取りついた悪いものを祓うために、紙や木を人のかたちに切りぬいた人形に、息を吹きかけたり、身肌にすりつけて、水辺に流す風習が古代からありました。これとは別に、子どもたちの遊びに用いられた人形を「ひいな」と呼んでいます。これらの風習がいつの頃からかは明らかではありませんが、3月3日の雛まつりとなつた

と考えられています。

江戸時代になると、

次第に雛まつりが盛んに

なりました。江戸時代の初め頃は、紙でできた立雛を何対もならべ、雛の道具も、ごちそうをお供えするための器ぐらいでした。雛まつりが普及するにつれ、いろいろな雛人形が生み出され、雛人形とともに飾られる添え人形や道具類がしつらえられるようになりました。雛段の数も江戸時代中頃には、二~三段の段飾りがあらわれ、江戸時代の終わり頃には七~八段の豪華な飾りも見られるようになったといわれています。



江戸時代のことわざ
わかる子ども向けホームページ
「よしなおくん」もみてね。

徳川美術館 名古屋市東区徳川町1017 TEL 052-935-6262
<http://www.tokugawa-art-museum.jp/>



まだトイ・インターネットで
ここにアクセスしてね！
<http://www.yoshinao.net>

2020年
2月の
ポイント

ひな
お雛さまの
いろいろ

されました。

有職雛の『有職』とは、公家(貴族)の社会のさまざま決まり事をさす言葉です。「有職雛」は、公家(貴族)の着る衣服を正しく再現して作られた雛人形をいいます。有職雛は、男雛の着ている衣服



3 徳川美術館のお雛さま

徳川美術館には、18歳で尾張徳川家14代藩主の慶勝の夫人となつた矩姫(貞徳院・1831~1902)の高さ約30cmもある雛人形や、京都の近衛家から尾張徳川家11代藩主の斎温に嫁いだ福君(俊恭院・1820~40)の数種類の雛道具などがあります。

美術館では、毎年、矩姫の雛人形や福君の雛道具をはじめ、御所人形や賀茂人形などのさ



さまざまな人形、道具を展示します。さらに、明治・大正・昭和の尾張徳川家の三世代にわたる夫人たちの、高さ約2メートル、横幅約7メートルの大雛段飾りもとても豪華です。



4 お内裏さまとお雛さまの並べ方

江戸時代から大正時代までは、向かって右に男雛、左に女雛を並べるのが伝統的な飾りかたでした。しかし、現在は男雛が左、女雛が右に飾ることが一般的です。これは、昭和天皇の即位式の時の写真を参考にし



て、女雛の飾り位置を右に置き換え、それが普及したためといわれています。

天皇の右に皇后が立たれるのは、明治時代に、皇室が取り入れた西洋のしきたりに基づきます。